

原料費調整（スライド）制度に基づく2021年10月のガス料金について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて弊社では、原料費調整制度に基づいた都市ガス従量料金単価の調整を、下記のとおりとさせていただきます。

敬具

記

- 「原料費調整（スライド）制度」に基づき、2021年10月検針分に適用される従量料金単価を、2021年9月検針分に適用される従量料金単価に対し、1 m³あたり＋3円42銭（税込）調整させていただきます。
- 標準家庭（1か月のご使用量が21 m³）の場合、ガス料金は月額5,667円（税込）となり、72円（1.29%）お支払額が増加します。

※ 原料費調整（スライド）制度は、都市ガスの原料となるLNG、プロパンの価格変動に対応して、従量料金単価（1 m³あたりの単価）を、毎月見直す制度です。

今回の料金の算定基準となる2021年5月～2021年7月のLNG、プロパンの平均原料価格を2021年5月～6月の貿易統計確報値および2021年7月の貿易統計速報値を基に算定しますと、平均原料価格は 52,410円／t となります。2021年9月検針分のガス料金調整額を算定した2021年4月～2021年6月の実績平均原料価格に比べ、今回の調整額の算定基準となる2021年5月～2021年7月の実績平均原料価格は、トンあたり3,890円上昇することになり、料金調整は上記のとおりとなります。

●2021 年 10 月検針分に適用されるガス小売供給約款料金（消費税等相当額を含みます。）

2021 年 9 月検針分の従量料金単価に対して、+3.42 円の調整となります。

料金表	1 か月の 使用量	基本料金 (1 か月あたり)	従量料金単価 (1 m ³ あたり)	
			2021 年 10 月	2021 年 9 月
A	0 m ³ から 10 m ³ まで	976.80 円	255.68 円	252.26 円
B	10 m ³ を超え 170 m ³ まで	1,593.46 円	194.01 円	190.59 円
C	170 m ³ を超え 500 m ³ まで	4,690.18 円	175.79 円	172.37 円
D	500 m ³ を超える	10,674.18 円	163.83 円	160.41 円

※基本料金は変わりません。

※基本料金、従量料金単価とも消費税等相当額を含んでいます。

●2021 年 10 月検針分 お客さまへの影響額

標準家庭（1 か月のご使用量が 21 m³）の場合

2021 年 10 月適用料金 (a)	2021 年 9 月適用料金 (b)	増減 (c) (a) - (b)	増減率 (c) / (b)
5,667 円	5,595 円	+72 円	+1.29%

1. 上記の料金は、いずれも消費税等相当額を含む 1 か月の料金です。

2. 「標準家庭」のガス使用量は日本海ガスの家庭用のお客さまの 2016 年～2020 年の月平均使用量です。

●平均原料価格（円／t）および従量料金単価調整額（円／m³）

	2021.5～2021.7	2021.4～2021.6	基準平均原料価格
LNG 平均輸入価格(貿易統計値)	51,730	47,730	42,480
プロパン平均輸入価格(貿易統計値)	64,640	63,740	39,600
平均原料価格(LNG 換算)	52,410	48,520	42,520

■2021 年 5 月～2021 年 7 月の平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG 平均輸入価格} \times 0.9645 + \text{プロパン平均輸入価格} \times 0.0390 \text{ (10 円未満四捨五入)} \\
 &= 51,730 \text{ 円/t} \times 0.9645 + 64,640 \text{ 円/t} \times 0.0390 \\
 &= 52,414.545 \text{ 円/t (10 円未満四捨五入)} \\
 &= \underline{\underline{52,410 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 52,410 \text{ 円/t} - 42,520 \text{ 円/t} \\
 &= 9,890 \text{ 円/t (100 円未満切捨て)} \\
 &= \underline{\underline{9,800 \text{ 円/t}}}
 \end{aligned}$$

■従量料金単価調整額(1 m³あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 \text{従量料金単価調整額} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= 9,800 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.082 \times 1.10 \\
 &= 8.8396 \\
 &= \underline{\underline{8.83 \text{ 円/m}^3}}
 \end{aligned}$$

※原料価格変動額 100 円につき従量料金単価を 0.0902 (0.082×1.1) 円調整します。

※調整額がプラスの時は少数点第 3 位以下を切捨て、マイナスの時は少数点第 3 位以下を切上げます。

	2021 年 10 月	2021 年 9 月	増減
調整額 (円/m ³ ・税込)	+8.83	+5.41	+3.42